

<混合型①> インスリンアナログ製剤

○：採用 △：限定採用 ×：非採用

一般名	混合比	商品名	採用 現行 ↓ 提案	含有単位 薬価 1単位あたり	会社名	作用時間 (hr) ※皮下注射			用法	開封後期限	性状	特徴
						発現	最大	持続				
インスリンリスプロ	超速効：中間 25：75	ヒューマログミックス25注 カート 	○	300単位 1648円 5.49円	リリー	15分 以内	0.5 }	6	18	朝・夕 食直前 又は 朝食直前	4 週間	<ul style="list-style-type: none"> 混合型の処方人数が多い → BOT療法や強化療法が主流となる以前は、混合型でインスリン治療開始される例が多かった → コントロールできている人はそのままとなっている 適する代表症例 ①日中のインスリン投与が困難な例 ②BOT療法にて血糖コントロール不良例 30 mix、25 mix ①急速の血糖降下作用は少なく作用時間が長い ②食間の血糖降下作用が持続する 50 mix、70 mix・・・新規処方はしない ①食後高血糖を下げる効果が強い ②持続性が短いため夜間低血糖が少ない ③超速効型の混合割合が多いため、増量する際は低血糖に注意が必要となる 懸濁液であるため、残量が少ない場合は均一に混ぜることができない → 投与する単位数を設定できなくなったとき（注入ボタンが最後まで回らない）は破棄して新品を使用する リリー社製品は他社と比較し安価 ノボ社製品（30ミックス）は持ち込み例が多い → ライゾデグへの変更を検討する
		ヒューマログミックス25注 ミリオペン 	△	300単位 1953円 6.51円								
	超速効：中間 50：50	ヒューマログミックス50注 カート 	○	300単位 1641円 5.47円								
		ヒューマログミックス50注 ミリオペン 	△	300単位 1953円 6.51円								
インスリンアスパルト	超速効：中間 30：70	ノボラピッド30ミックス注 ペンフィル 	×	300単位 1685円 5.62円	ノボ	10 }	1 }	4	約 24	朝・夕 食直前 又は 朝食直前	4 週間	<ul style="list-style-type: none"> 混合型の処方人数が多い → BOT療法や強化療法が主流となる以前は、混合型でインスリン治療開始される例が多かった → コントロールできている人はそのままとなっている 適する代表症例 ①日中のインスリン投与が困難な例 ②BOT療法にて血糖コントロール不良例 30 mix、25 mix ①急速の血糖降下作用は少なく作用時間が長い ②食間の血糖降下作用が持続する 50 mix、70 mix・・・新規処方はしない ①食後高血糖を下げる効果が強い ②持続性が短いため夜間低血糖が少ない ③超速効型の混合割合が多いため、増量する際は低血糖に注意が必要となる 懸濁液であるため、残量が少ない場合は均一に混ぜることができない → 投与する単位数を設定できなくなったとき（注入ボタンが最後まで回らない）は破棄して新品を使用する リリー社製品は他社と比較し安価 ノボ社製品（30ミックス）は持ち込み例が多い → ライゾデグへの変更を検討する
		ノボラピッド30ミックス注 フレックスペン 	△	300単位 2352円 7.84円								
	超速効：中間 50：50	ノボラピッド50ミックス注 フレックスペン 	×	300単位 2352円 7.84円								
		ノボラピッド70ミックス注 フレックスペン 	×	300単位 2351円 7.84円								